

学校便り 10月号

令和6年9月27日発行

和歌山市立岡崎小学校

記録的な猛暑も少しずつおさまり、朝夕は秋の気配が感じられるようになってきました。秋分の日が過ぎ、これから夏から秋へと季節が移り変わっていきます。

今年の「秋分の日」は9月22日ですが、実は秋分の日は毎年同じ日付ではありません。去年は9月23日、そして来年も9月23日です。その年によって日付が変わるには、理由があります。太陽の通り道「黄道」には360度の目盛りがつけられており、これを黄経と呼びます。この黄経180度を通る日が「秋分の日」です。このような太陽と地球の動きをもとに、国立天文台が「秋分の日」を決めています。この日は、太陽が真東から昇って真西に沈むので、そのため、秋分は昼と夜の長さがほぼ同じになります。これから日に日に昼が短く夜が長くなり、こうやって「秋の夜長」を楽しむ季節になっていくのですね。

とは言っても、まだまだ暑い！ 学校は本当に暑いです。

そんな暑さに負けず、子どもたちは元気いっぱい。熱中症対策のため外で遊べない日は本当にがっかりし、遊べる日は元気に外へ飛び出していきます。4月からスタートした今学年も、折り返し地点を迎え、クラスの友達や先生にも慣れ、自分を安心して表現できる仲間を増やしてきたところでしょうか。走り回ったり、遊具やボールで遊んだり、友達と虫を探したり・・・パワーにあふれ、元気が有り余っています。

10月は運動会に向けて練習の日々が続きます。暑さに負けず、熱く、力いっぱい頑張りたいと思います。もちろん、得意不得意、好きや苦手などもあるでしょう。体調やコンディションがよくない日も、あって当然です。しんどくて、つらいこともあるけれど、やり切りたいと願っています。「自分の力を精いっぱい出し切る」「あきらめなくて最後までやる」「みんなで力をあわせる、つなぐ」ことの大切さや、勝負ならではの「上を目指す意欲」「悔しいと感じ、次は!」と思う気持ち、表現することの達成感や満足感をじゅうぶんに味わってほしいと考えています。それが、成長していく上での子どもたちの心の土台となるからです。

子どもたちの頑張りを、心から楽しみ、見守り応援したいと思います。

(教頭)